



令和6年能登半島地震の震災遺構と 震災復興ツーリズム

金沢大学地域創造学系 青木賢人

震災遺構とは？

- 地震・震災の影響の大きさや、被害の様相、亡くなった方への弔いの気持ちなどを後世に引き継ぎ（震災を伝承し）、防災意識の向上や防災教育、ダークツーリズムなどに役立てることを目的に、保存・活用されている
- 地震やそれに伴う津波によって変化した「自然」や、被害を受けた建造物など、あるいはモニュメントなどが対象となる



震災復興ツーリズムとは？

- 点としての震災遺構をつなぎ線にすることで、外来者が震災地を「旅」できるようにする仕掛け
- 施設だけでなく、被災者や関係者が「語り部」として災害を語り継ぐことで教訓を語り継げる
- 2004年中越地震, 2011年東日本大震災などでは、遺構をつなぐネットワークが整備されている



3.11 伝承ロード推進機構からのお知らせ

2024年4月19日
ラジオ「未来への道へ3.11伝承ロード」の音源を公開しました

2024年4月18日
「3.11伝承ロード」・「写真で見る復興10年の歩み」パネル

令和5年度
防災・伝承セミナー in 青森
セミナー動画公開中

3.11 伝承ロード
令和3年3月23日
東日本大震災10周年特別講演会

<https://www.311densho.or.jp/>



<https://www.cosss.jp/memorial/>

Japan Disaster Memorial Museum

MAP 2023 日本災害伝承ミュージアムマップ

現在、日本には、特定の自然災害被害の経験に基づき、記録・伝承する展示施設が約 60 ほどあります。これらの所在を地図上に示しました。各地に訪問する機会には、ぜひこれらの施設にも足を延ばし、災害からの教訓や、減災の具体策等について、学びを深めていただければ幸いです。

掲載情報は、2023 年 9 月時点のものです。全ての施設を新編できていない可能性があります。掲載のない施設について情報をお持ちの方は、ぜひ事務局までお知らせください。

特定の自然災害の 伝承施設 (東日本大震災を除く)

- | | |
|--------------------|--------------------------|
| 1977.2.00 有珠山噴火 | 1 洞爺湖ビジターセンター・火山科学館 |
| 1993 北海道西沖地震 | 2 尻尾津波館 |
| 1888 御嶽山噴火 | 30 磐梯山噴火記念館 |
| 1783 浅間山噴火 | 40 鎌原郷土資料館 |
| 1919 伊勢湾台風 | 51 名古屋市消防防災センター |
| 2004 台風 23 号水害 | 52 福知山市治水記念館 |
| 1934 室戸台風 | 53 津波・高潮ステーション |
| 1995.1.17 阪神・淡路大震災 | 54 仁川百合野地区すべり資料館 |
| | 55 阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター |
| | 56 ふたば学舎 |
| | 57 北淡震災記念公園 |
| 1923.9.1 関東大震災 | 41 東京都復興記念館 |
| 今後発生が予測される首都圏下地盤 | 42 東京臨海広域防災公園そなエリア東京 |
| 2004.10.23 新潟中越地震 | 43 長岡震災アーカイブセンターきおくみらい |
| | 44 やまこし復興交流館 おらたる |
| | 45 おぢや震災ミュージアムそなえ館 |
| | 46 川口きずな館 |
| 2007 新潟中越沖地震 | 47 中越沖地震メモリアルまちから |
| 2016 糸魚川市紀北大火 | 48 紀北広場 キターレ |
| 2014 御嶽山噴火災害 | 49 御嶽山ビジターセンター |
| 1893 濃尾地震 | 50 相模谷地震新層観覧館 |
| 1854 安政南海地震・津波 | 58 福むらの火の館 |
| 2014 4 月豪雨 | 59 広島市豪雨災害伝承館 |
| 2017 九州北部豪雨 | 60 東峰村災害伝承館 |
| 1991 雲仙岳噴火災害 | 61 雲仙岳災害記念館 |
| 2016 熊本地震 | 62 熊本地震震災ミュージアム KIOKU |
| 1914 福島大正大火 | 63 福島ビジターセンター |

消防組織による展示や体験が充実した 大型防災センター

- F1 埼玉消防防災学習センター “そな一ス”
- F2 消防博物館 東京消防庁 消防防災資料センター
- F3 東京消防庁 池袋防災館
- F4 東京消防庁 立川防災館
- F5 東京消防庁 本所防災館
- F6 神奈川県総合防災センター
- F7 横浜市民防災センター
- F8 静岡県地震防災センター
- F9 徳島市防災センター
- F10 京都府市民防災センター
- F11 大阪市立阿倍野防災センター
- F12 堺市総合防災センター
- F13 松山市防災センター
- F14 福岡市民防災センター
- F15 鹿児島県防災情報センター

震災伝承に注力する総合博物館
関東大震災 100 年を契機とする企画展の開催

- 地質学系施設 S3 名古屋大学 減災館 (防災連携研究センター)
- S4 京都大学 阿武山観測所 (阿武山地震・防災サイエンスミュージアム)

3.11 伝承 ロード

2011.3.11 東日本大震災の伝承施設

- | | |
|-----|---------------------------------|
| 宮城県 | 3 八戸市みなと体験学習館 |
| | 4 久慈地下水族科学館もくらんぴあ |
| | 5 震災遺構たろう観光ホテル |
| | 6 宮古市市民交流センター |
| | 7 おしゃっち大槌町文化交流センター |
| | 8 いのちをつなぐ未来館 |
| | 9 大船渡市立博物館 |
| | 10 東日本大震災津波伝承館(いわてTSUNAMIメモリアル) |
| 岩手県 | 11 リアス・アーク美術館 |
| | 12 気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館 |
| | 13 高野会館 |
| | 14 南三陸 3.11 メモリアル |
| | 15 石巻市震災遺構 大川小学校 |
| | 16 石巻ニューゼ |
| | 17 石巻市震災遺構 門脇小学校 |
| | 18 MEET 門脇 |
| | 19 みやぎ東日本大震災津波伝承館 |
| | 20 KIBOTCHA (キボッチャ) |
| | 21 みやぎ生協 東日本大震災学習・資料室 |
| | 22 NHK 仙台拠点放送局 |
| | 23 3 がつ 1 にちをわすれないためにセンター |
| | 24 せんだい 3.11 メモリアル交流館 |
| | 25 震災遺構仙台市立荒浜小学校 |
| | 26 名取市震災復興伝承館 |
| | 27 津波復興祈念資料館 閣上の記憶 |
| | 28 岩沼市千年希望の丘交流センター |
| | 29 山元町震災遺構 中浜小学校 |
| 福島県 | 31 震災遺構 遠江町立鎌戸小学校 |
| | 32 東日本大震災・原子力災害伝承館 |
| | 33 とみおかアーカイブ・ミュージアム |
| | 34 みんなの交流館 ならは CANvas |
| | 35 いわき市防災交流センター久の浜・大久ふれあい館 |
| | 36 原子力災害学習館 Furusato |
| | 37 いわき震災伝承みらい館 |
| | 38 ライブいわきミュージアム |
| 千葉県 | 39 船市防災資料館 |

その他、関連の施設

- S1 福島県立博物館
- S2 国立科学博物館 (2023 年特別展)
- S3 名古屋大学 減災館 (防災連携研究センター)
- S4 京都大学 阿武山観測所 (阿武山地震・防災サイエンスミュージアム)



「教訓の伝承」が持つ意味

合言葉は「いざとなったら集会所」 訓練生きた…津波から全員無事に避難 珠洲市・下出地区

2024年1月26日 14時00分



津波に襲われた石川県珠洲市三崎町。住民らは高台（写真左奥）にある下出集会所に逃げて全員が無事だった（ドローンから）

能登半島地震の津波が襲った石川県珠洲（すず）市で、犠牲者が出なかった地区や施設がある。日ごろから続けてきた訓練の成果を生かし「条件反射で逃げられた」と振り返る。（鈴木沙弥、鈴木みのり）

津波災害への備え

～津波避難対策支援事業のまとめ～
（平成25年3月）



石川県危機管理監室

県の創造的復興における震災遺構

創造的復興プランの骨子の主な内容

施策の体系	主な施策
災害に強い地域づくり	公共土木施設などの強化、液状化対策
なりわいの再建	和倉温泉などまちづくり支援、観光産業再建
暮らしとコミュニティの再建	災害公営住宅の整備、祭り用具の再建
安全・安心な地域づくり	奥能登公立病院の機能強化、孤立化への備え
創造的復興リーディングプロジェクトの創出	2地域居住受け入れ促進、 <u>断層などの地域資源化</u>

- 3月28日に発表された県の創造的復興プラン(仮)においても、震災遺構の保存と活用(資源化)が位置づけられた。
- 能登地域に交流人口を導入する一つの方策として震災復興ツーリズムを位置づける。特に、隆起海岸は新しい景色として「絶景ロード」の重要資源ともなる。
- 森本富樫断層による地震被害が想定される金沢地区の住民・児童生徒に対する教育効果も高い。

被災地を見に来る「観光客」



2024.02.22 輪島



地盤隆起	地盤沈下	液状化
津波	断層変位	大火災
地盤災害	盛土崩壊	

能登半島地震による被害の多様な実相

現象・被災の種類と自治体の組み合わせ

	珠洲市	能登町	輪島市	穴水町	七尾市	志賀町	中能登町	羽咋市	宝達志水町	かほく市	津幡町	内灘町	金沢市	野々市市	白山市	阪神淡路	熊本	東日本
	VI+	VI-	VII	VI+	VI+	VII	VI-	V+	V+	V+	V-	V-	V+	IV	V-	VII	VII	VII
強震動	◎	◎	◎	◎	○	○										◎	◎	◎
液状化	◎	◎	◎	◎	◎	○	○	○	○	◎	○	◎	○			◎	◎	◎
地盤隆起	◎		◎			○												
地盤沈下		○?																◎
津波	◎	◎		○	○	○		○										◎
土砂災害	◎	◎	◎	◎	○	○				○	○		○			◎	◎	◎
断層変位	◎?															◎	◎	
火災			◎					現地観察，報道などによる著者の主観的評価								◎		◎



活断層地震で生じるおよそすべての現象と被害が発生しているのが今回の能登半島地震の特徴



①【輪島市】【隆起海岸】

②【輪島市】【火災】

⑤【珠洲市】【断層変位】

⑥【珠洲市】【津波】



③【輪島市】【土砂災害】

④【珠洲市】【隆起海岸】

⑦【珠洲市】【津波・強震動】

⑧【能登町】【津波】



⑭【志賀町】【隆起海岸】

⑮【輪島市】【隆起海岸】

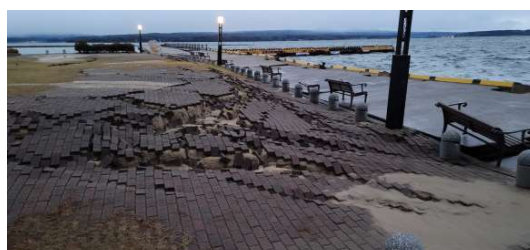
⑨【能登町】【津波・液状化】

⑩【能登町】【液状化】



能登半島地震によって生じた現象・被害を継承するための遺構の候補を上げ、ツアーを提案する。

⑬【羽咋市】【津波】



⑪【穴水町】【強震動】

⑫【七尾市】【液状化】

このような地点や被災施設を遺構として残すことができないだろうか？

震災遺構選定にあたっての方針

- ◆ 私有財ではなく，公有財，もしくは公共性の高い場所・物を対象とする。
- ◆ 人が亡くなった直接的な場所については回避する（ダークツーリズムの観点から，のちには再考が必要）。
- ◆ 能登半島地震で発生した事象・被害を網羅する。
- ◆ 被害が大きかった羽咋市以北の自治体を網羅する（周遊性を高めるため）。
- ◆ **隆起海岸については国指定の天然記念物にすることも考慮**。すでに，県・文化庁関係者には働きかけを行っている。

場所・もの・情報の保存と公開

- ◆ 現地保存（「場」の保存）を優先する。「場」にはものと情報が付帯する。現地保存が難しい場合には、事象を表象する「もの」を保存し、それを収集・公開できる施設を確保することを考慮する。
- ◆ 復旧作業や再開発に伴って、「場」や「もの」が失われる場合には「情報」を保存し、公開することになる。高精細地形データなどを活用することで、リアリティのある情報提供が可能になると考える。
- ◆ 七尾（+和倉温泉）、輪島、飯田（珠洲市）、小木（能登町）に、既存施設を活用して拠点を整備し、能登半島を一周する形の周遊観光に結び付けたい。

具体例①②

①【輪島市・鴨ヶ浦塩水プール】



【**隆起海岸**】海岸の隆起量は地震前の海水準を明瞭に示す人工物があるとわかりやすい。塩水プールは1.5m程度の隆起によって陸化しており、隆起量が把握しやすい。すでに国の登録有形文化財に指定されており、周辺の保存は比較的容易と考えられる。

②【輪島市・ドラマ記念館跡】



【**火災**】大規模火災が発生した朝市通り商店街の外縁部に位置していた連ドラ「まれ」の資料館跡地。オブジェが焼け残っている。市が50%の株式を所有する株式会社の所有。商店街自体は再開発が予想されるため、ものと情報を保存する施設に。

具体例③④

③【輪島市・南志見海岸】



【土砂災害】 この地点では地すべりによって道路が崩壊し、通行不能となっている。能登半島地震では道路寸断が顕著で、こうした箇所を行こうとすることが望まれる。道路復旧によって残せない場合は、3Dモデルとして残すことも可能。

④【珠洲市・すず塩田村】



【隆起海岸】 公的施設である塩田村がある。国の重要無形民俗文化財である揚げ浜塩田の保存地であり、海岸隆起によって海水を汲みに行く距離が延びてしまっており、海岸隆起を説明する地点として適している施設である。

具体例⑤⑥

⑤【珠洲市・若山川沿い】



【断層変位】主たる起震断層は海底にあったため、陸上の断層変位地形は限られている。若山川付近には顕著な逆断層地形が表れており、この一部を保存することで、断層変位についての情報を提供できる。3D情報での提供もありうる。

⑥【珠洲市・寺家地区】



【津波】顕著な津波被害が生じた地区の一つ。寄り道パーキングに併設された売店施設が被災している。建物自体は再利用されると考えられるが、浸水高の表示や、写真の掲示などで被災建造物を用いた情報提供が可能になると考える。

具体例⑦⑧

⑦【珠州市・見附島海岸】



【津波・強震動】 顕著な津波被害が生じた地区の一つ。寄り道パーキングに併設された売店施設が被災している。建物自体は再利用されると考えられるが、浸水高の表示や、写真の掲示などで被災建造物を用いた情報提供が可能になると考える。

⑧【能登町・白丸地区】



【津波】 最も深刻な津波被害が生じた地区。公的な施設としては白丸郵便局が被災しており、被災施設として残すか、再利用されるのであれば情報提供を行う被災建造物として活用することが望まれる。

具体例⑨⑩

⑨【能登町・イカの駅つくモール】



【津波・液状化】観光拠点となっている道の駅。施設周辺には顕著な液状化や冠水があり、津波の浸水もある。液状化した護岸を一部残し、施設で情報提供することで、観光動線と一致した遺構の展開が可能となる。

⑩【能登町・宇出津港】



【液状化】液状化によって護岸が著しく破壊されている。この場所には、地元回転すし屋があり、観光客も多く訪れる場所であることから、視認性が高い場所である。液状化した護岸の一部を遺構として残すことで、影響を可視化しやすい。

具体例⑪⑫

⑪【穴水町・興能信金穴水支店】



【強震動・液状化】 穴水市街地で強震動，液状化による損壊を受けた公共性が高い施設である。中心街にも近く，敷地内の液状化跡と合わせて撤去せずに残すことができれば，遺構として活用することができる。

⑫【七尾市・和倉温泉／のと食彩市場】



【液状化】 七尾市の食彩市場および和倉温泉街は能登観光全体の拠点となる。いずれも岸壁に液状化による変状が顕著に確認される。これらを遺構化することで，七尾における被害を伝えるとともに，能登全体の遺構への動線の起点とできる。公的施設もあり，拠点施設としての活用も期待できる。

具体例⑬⑭

⑬【羽咋市・柴垣漁港/長手島】



【津波】陸繋砂州を津波が乗り越えた地点。漁港と神社の敷地として保全されており、改変は行われないと予想。地形変化は生じていないことから、看板などでの情報提供を行うことで遺構化できると考える。

⑭【志賀町・富来漁港】



【隆起海岸】顕著な隆起が確認される海岸線としては南端部に位置する。40～50cm程度の隆起。岩海苔の畑が整備されていて、隆起量を認識しやすい。大規模漁港に隣接し、アクセスも容易である。

具体例⑮⑯

⑮【輪島市・黒島漁港】



【隆起海岸】 北前船船主である角海家（国指定重要文化財）を有する黒島集落（重伝建）の小規模漁港。漁港が完全に干上がっている。集約の対象となれば，周辺の文化財と一体化して保存し，文化観光と連携した活用が可能となる。

⑯【輪島市・鹿磯漁港】



【隆起海岸】 約4mの隆起が観測された岸壁を有する漁港。海岸隆起が報道されたシンボリックな地点となっている。再建が確実な漁港であり，再建計画の中でこの岸壁の「部分的保存」が織り込まれることが望ましい。